

ChronoStar Version2.2

C S V登録ツール
説明書

第1版

クボタシステム開発株式会社

目次

1. 基本操作	2
1.1. ツールの起動	2
1.2. サーバの選択	2
1.3. 登録情報ファイルの指定	3
1.4. 登録情報ファイルの新規作成	3
1.5. 登録情報ファイルの新規作成 登録 CSV ファイルの指定	4
1.6. 設定内容の確認	5
1.7. 登録データ保管場所の指定	6
1.8. エラー出力ファイルの指定	6
1.9. 登録実行	6
1.10. 同名ファイルは別ファイルとして登録する。	7
1.11. 同名ファイルはスキップする。	7
1.12. 同名ファイルは上書き更新する	7
1.13. 属性情報の更新のみ行う。	7
1.14. ダミーファイルの差し替えを行う。	7
1.15. ツールの終了	7
2. 詳細設定	8
3. 自動実行	10
4. 定期自動実行の設定	11

1. 基本操作

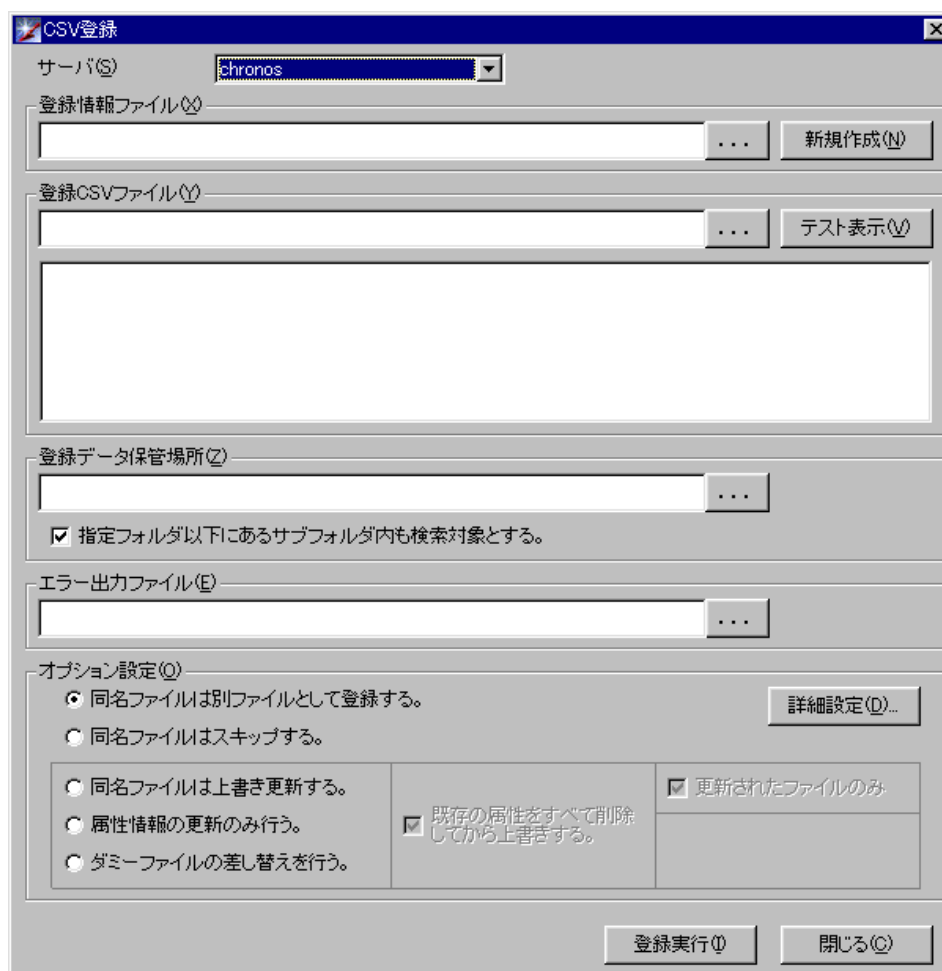
1.1. ツールの起動

スタートメニューより、「CSV登録」を選択して起動します。



1.2. サーバの選択

サーバは chronos を選択します。

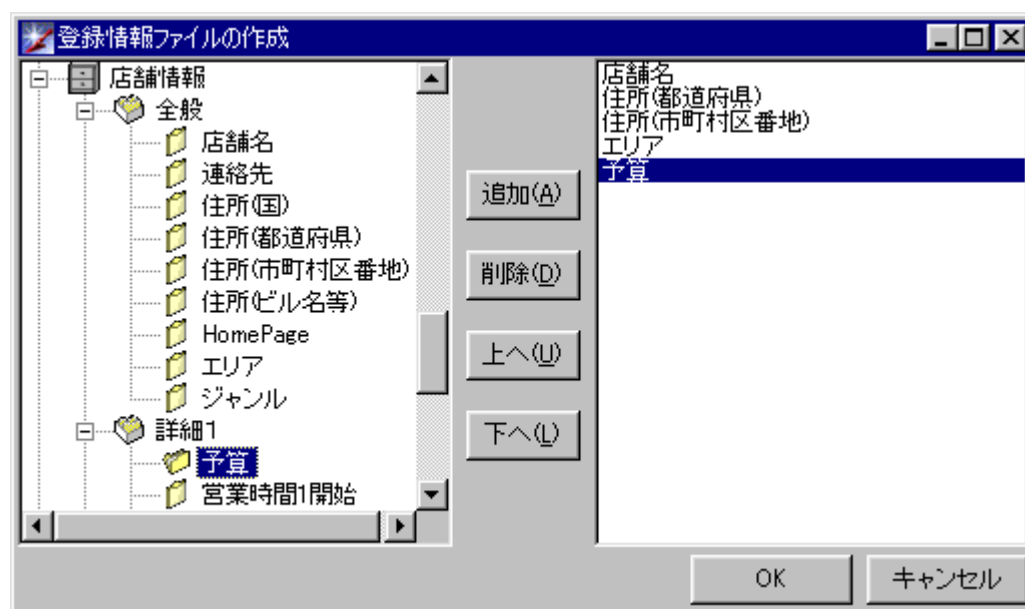


1.3. 登録情報ファイルの指定

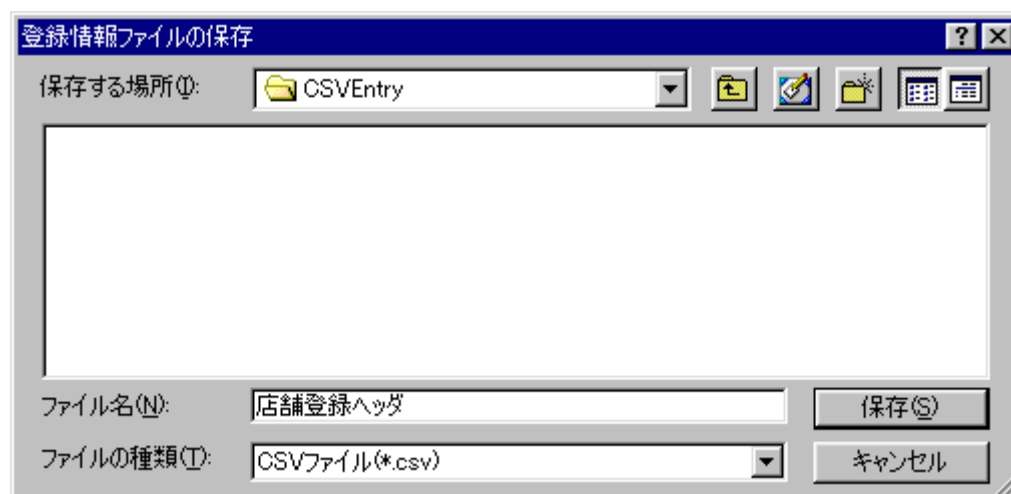
登録する CSV ファイルの各項目がクロノスターで管理する属性のどの項目に対応するかを指定するための「登録情報ファイル」を作成します。既に作成している場合は入力欄にファイル名を記入するか [...] ボタンを使用してファイルを選択します。はじめて登録する場合は [新規作成] ボタンをクリックして作成作業を行います。

1.4. 登録情報ファイルの新規作成

はじめて登録作業を行う場合は [新規作成] ボタンをクリックして登録する CSV の各項目に対応するクロノスターの属性項目を選択します。



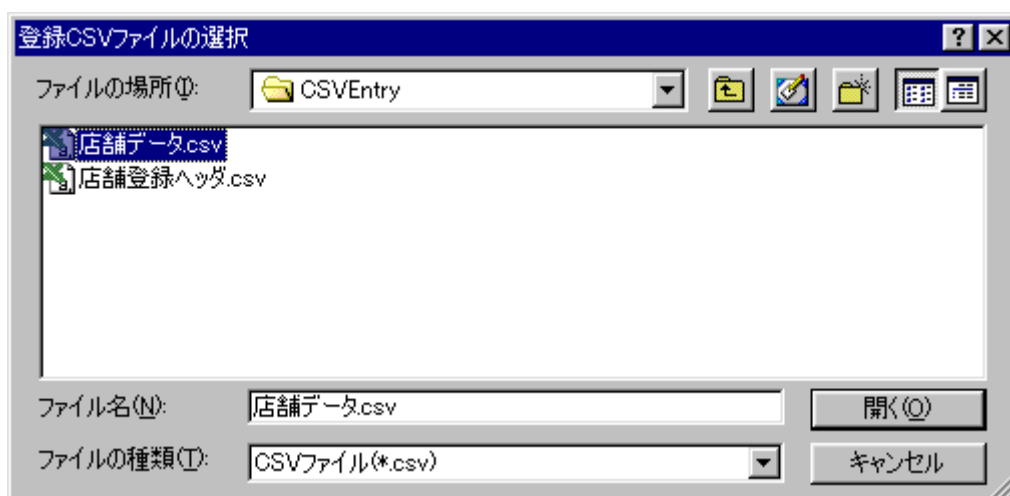
任意の属性グループから項目を選択し [追加] ボタンをクリックします。[上へ] [下へ] ボタンで位置を調整できます。CSV ファイルの項目記述順と項目数に合うように設定してください。[OK] ボタンをクリックし任意のファイル名を付けて保存します。



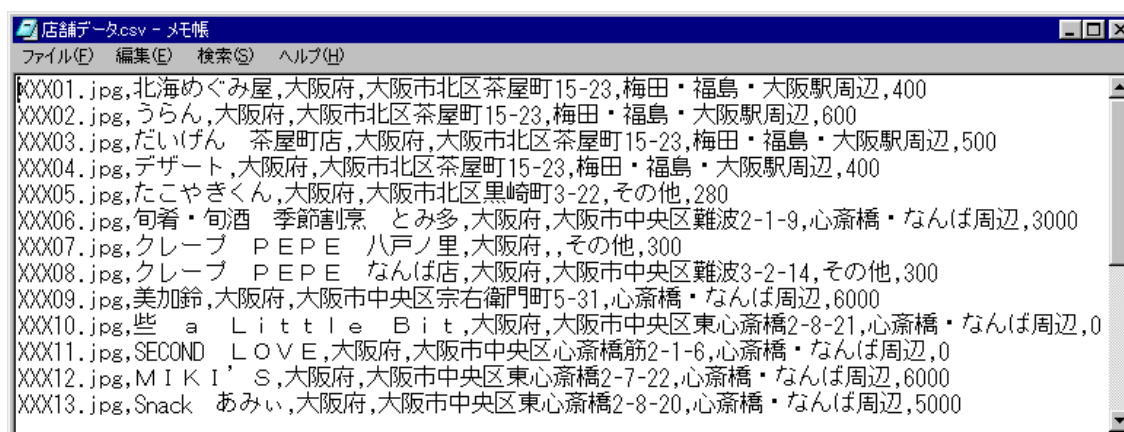
1.5. 登録情報ファイルの新規作成

登録 CSV ファイルの指定

登録 CSV ファイルを指定します。入力欄にファイル名を入力するか [...] ボタンで参照して設定します。



CSV ファイルは左端にファイル名を記述し、2 項目目以降に登録する属性を記入します。ファイル名にはパス名を含むこともできます。パス名がある場合は、そのパスにあるファイルを最優先で使用します。パス名が省略された場合は、次の手順で設定する「登録データの保管場所」の設定を使用します。



1.6. 設定内容の確認

「テスト表示」ボタンをクリックし設定内容を確認することができます。先頭の5行が表示されます。登録情報とデータ内容が一致していない時は警告します。その場合、そのまま強制登録もできますが、エラー表示している項目は登録されませんのでご注意ください。

サーバ(S)

登録情報ファイル(I) ... 新規作成(N)

登録CSVファイル(Y) ... テスト表示(V)

ファイル	店舗名	住所(都道府県)	住所(市町村区...	エリア	予算
XXX01.jpg	北海めぐみ屋	大阪府	大阪市北区茶屋...	梅田・福島・大...	400
XXX02.jpg	うらん	大阪府	大阪市北区茶屋...	梅田・福島・大...	600
XXX03.jpg	だいげん 茶屋...	大阪府	大阪市北区茶屋...	梅田・福島・大...	500
XXX04.jpg	デザート	大阪府	大阪市北区茶屋...	梅田・福島・大...	400
XXX05.jpg	たこやきくん	大阪府	大阪市北区黒崎...	その他	280

登録データ保管場所(O) ...

指定フォルダ以下にあるサブフォルダ内も検索対象とする。

エラー出力ファイル(E) ...

オプション設定(O)

同名ファイルは別ファイルとして登録する。 詳細設定(D)...

同名ファイルはスキップする。

同名ファイルは上書き更新する。

属性情報の更新のみ行う。

ダミーファイルの差し替えを行う。

更新されたファイルのみ

既存の属性をすべて削除してから上書きする。

登録実行(F) 閉じる(C)

1.7. 登録データ保管場所の指定

ファイルの保管場所ディレクトリを指定します。「指定フォルダ以下にあるサブフォルダ内も検索対象とする。」にチェックを入れた場合は指定されたディレクトリ以下のフォルダを追跡して登録ファイルを探します。チェックをしない場合、指定フォルダ内にファイルが見つからなかった場合は追跡検索を実行せずに登録をスキップします。

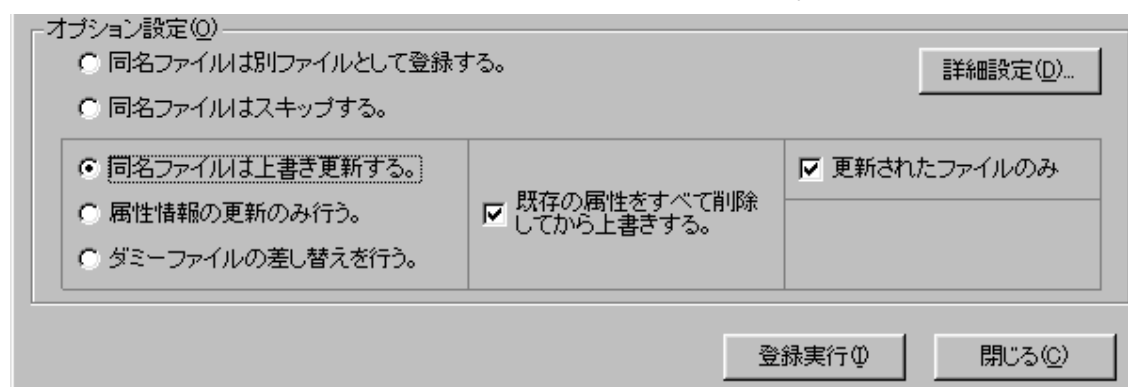


1.8. エラー出力ファイルの指定

ファイルが見つからなくスキップされた行やその他エラーが発生した行を別ファイルに保存したい場合は、そのファイル名を指定しておきます。特に指定しなくても登録は実行できます。ファイルが見つからなかったものだけを再度登録実行する場合のデータファイルとして利用できます。

1.9. 登録実行

以下のオプション設定を選択して「登録実行」をクリックします。



1.10. 同名ファイルは別ファイルとして登録する。

同名ファイルが既に存在する場合は別のファイルとして登録します。ただしクロノスター管理者ツールで設定されている同名禁止設定状況によっては登録できない場合があります。

1.11. 同名ファイルはスキップする。

同名ファイルが既に存在する場合は登録しません。エラー出力ファイルが指定されている場合は、そのファイルに該当行を出力します。スキップが発生した場合にそれをエラーとして扱うかどうかは [詳細設定] で変更できます。

1.12. 同名ファイルは上書き更新する

同名ファイルが既に存在する場合は、そのファイルを差し替えると同時に属性を更新します。同名ファイルが存在しない場合は新規登録されます。属性更新は [既存の属性をすべて削除してから上書きする。] のチェックの状態により動作が変わります。チェックされた場合は既存の属性情報をすべて削除してから再登録しますが、チェックされていない場合は既存の属性への追記更新となります。 [更新されたファイルのみ] にチェックされている場合は登録済みのファイルと登録ファイルの更新日付を比較し、登録ファイルが新しい場合のみファイルの差し替えを実行しますので登録に必要な時間を節約できます。ファイルの差し替えがない場合でも属性の更新は実施します。他のユーザが編集集中のファイルは更新できません。

1.13. 属性情報の更新のみ行う。

属性情報の更新のみ行い、ファイルの差し替えは実行しません。 [既存の属性をすべて削除してから上書きする。] はこのモードでも有効です。属性のみの更新でいい場合はファイルの差し替えが発生しない分、登録時間が大幅に短縮できます。

1.14. ダミーファイルの差し替えを行う。

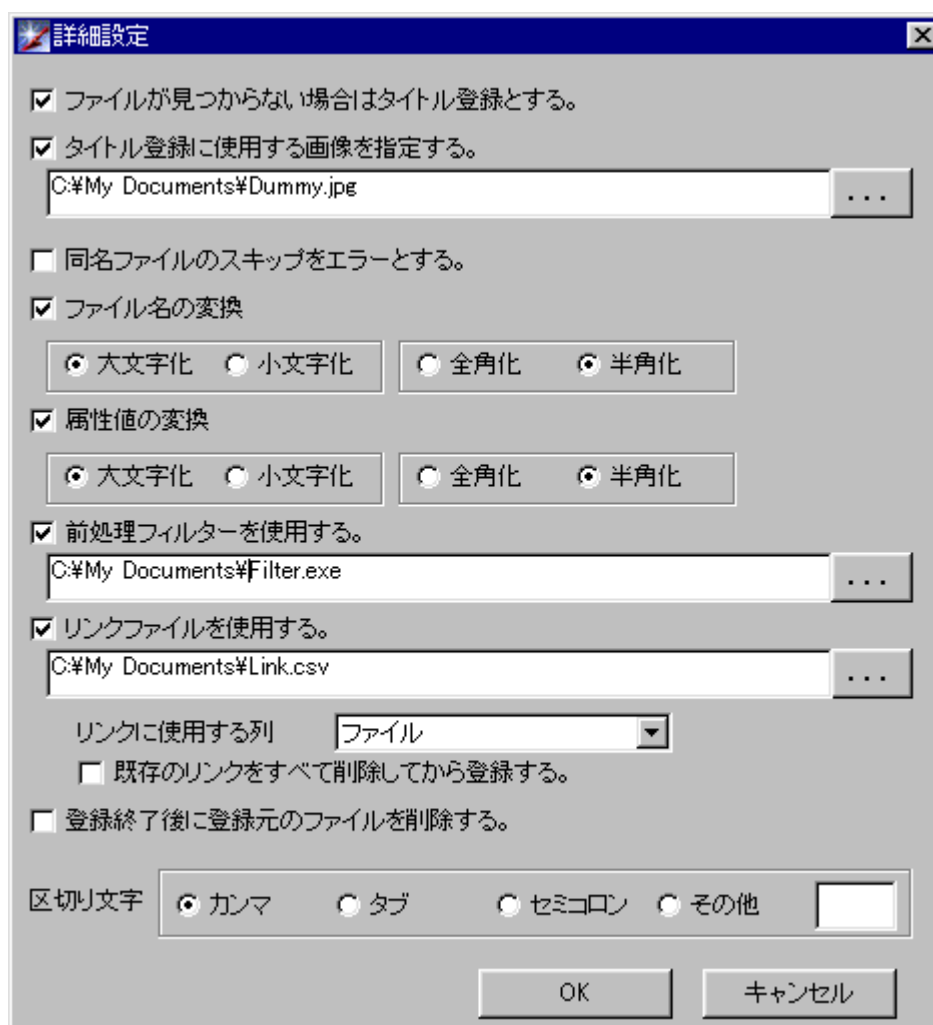
[詳細設定] によりダミー画像を指定して登録されたファイルのみ差し替えを実行します。ダミー画像でないファイルは登録をスキップします。ダミー画像を使用して登録されているファイルが正式なファイルになった場合に効率良く差し替えができます。

1.15. ツールの終了

[閉じる] ボタンをクリックしてツールの使用を終了します。

2. 詳細設定

[詳細設定] ボタンをクリックすると登録動作を詳細に設定できる画面が表示されます。



- ファイルが見つからない場合はタイトル登録とする。
登録ファイルが見つからない場合はエラーとせず属性情報のみ登録(タイトル登録)します。
- タイトル登録に使用する画像を指定する。
上の設定でタイトル登録となったファイルに画像を割り当てることができます。JPEG もしくは BMP 形式のファイルを指定します。このモードで登録されたファイルは、後日 [ダミーファイルの差し替えを行う。] モードで効率良く差し替えができます。
- 同名ファイルのスキップをエラーとする。
同名ファイルが存在した場合にスキップされるモードで動作している時にそれをエラーと扱うかどうかを設定できます。

- ファイル名の変換
登録後のファイル名を任意の書式に変換できます。CSV では統一されていない書式をデータベース上では統一したい場合に使用します。
- 属性値の変換
登録後の属性値を任意の書式に変換できます。CSV では統一されていない書式をデータベース上では統一したい場合に使用します。
- 前処理フィルターを使用する。
登録データの CSV を前処理するフィルタープログラムを設定できます。フィルタープログラムの詳細な仕様については弊社までお問い合わせください。以下のような機能を追加できます。
 - ◇ 登録 CSV データへの列追加、列削除、任意の列の結合、変換
 - ◇ 登録と同時に自動採番
 - ◇ 改訂履歴の作成
 - ◇ 承認処理
 - ◇ サムネイルの差し替え
 - ◇ リムーバブルメディアへの転送
- リンクファイルを使用する。
登録終了後にリンクを設定することができます。1 列目にリンク元ファイル、2 列目にリンク先ファイル(" リンク元ファイル" , " リンク先ファイル")を書き並べた CSV ファイルを設定します。ファイル名の変わりに " 図番 " などファイルを一意に特定できる属性を設定することもできます。その場合は [リンクに使用する列] からその属性項目を選択します。[既存のリンクをすべて削除してから登録する。] をチェックした場合はリンク登録前に既存のリンクを一旦すべて削除してから登録します。そうでない場合は現在のリンクに追加登録します。
- 登録終了後に登録元のファイルを削除する。
登録終了後に登録元のファイルを削除することができます。
- 区切り文字
CSV の区切り文字を選択できます。カンマ、タブ、セミコロンから選択できます。その他を設定して任意の文字を設定することもできます。登録情報ファイルと登録 CSV ファイルの双方を、ここで設定された区切り文字で読み込みます。

3. 自動実行

CSVEntry.exe に引数を与えて実行することで定期的に自動実行するような使用方法に適用できません。

CSVEntry.exe <サーバ名> <環境ファイル>

第一引数にはサーバ名を指定します。これはメイン画面のサーバ設定欄から選択できるサーバ名です。通常は「chronos」です。環境ファイル名は動作設定を記述したテキストファイルです。省略した場合は最後に動作したモードで動作します。以下のような内容を環境ファイルとして定義できます。

```
HeaderFile = C:\My Documents\CSVEntry\店舗登録ヘッダ.csv
DataFile = C:\My Documents\CSVEntry\店舗データ.csv
DataDir = C:\My Documents
ErrorFile =
OptionEntryMode = 3
OptionEntryOldAttr = TRUE
OptionEntryCompMTime = TRUE
OptionTitleEntry = TRUE
OptionDummyImage = TRUE
OptionDummyImageFile = = C:\My Documents\Dummy.jpg
OptionSkipError = FALSE
OptionFileConvert = 9
OptionAttrConvert = 9
OptionFilter = TRUE
OptionFiltername = = C:\My Documents\Filter.exe
OptionLink = TRUE
OptionLinkFile = = C:\My Documents\Link.csv
OptionLinkColumn = 1
OptionLinkOldKill = FALSE
OptionDelSourceFile = FALSE
OptionSeparator = ,
```

OptionEntryMode

- 0 同名ファイルは別ファイルとして登録する。
- 1 同名ファイルはスキップする。
- 2 同名ファイルは上書き更新する。
- 3 属性情報の更新のみ行う。
- 4 ダミーファイルの差し替えを行う。

OptionFileConvert,OptionAttrConvert

- 8 大文字化
- 4 小文字化
- 2 全角化
- 1 半角化

4. 定期自動実行の設定

コントロールパネルのタスクを開きます。



スケジュールされたタスクの追加をダブルクリックします。(NT の場合はタスクの追加) ウィザードが起動します。



参照をクリックします。CSVEntry.exe をインストールしたディレクトリから CSVEntry.exe を選択します。選択終了後に[次へ]ボタンを押します。



任意の名前を設定しスケジュールの単位を選択します。
[次へ]ボタンを押します。



実行時刻、間隔、開始日を設定します。
[次へ]ボタンを押します。

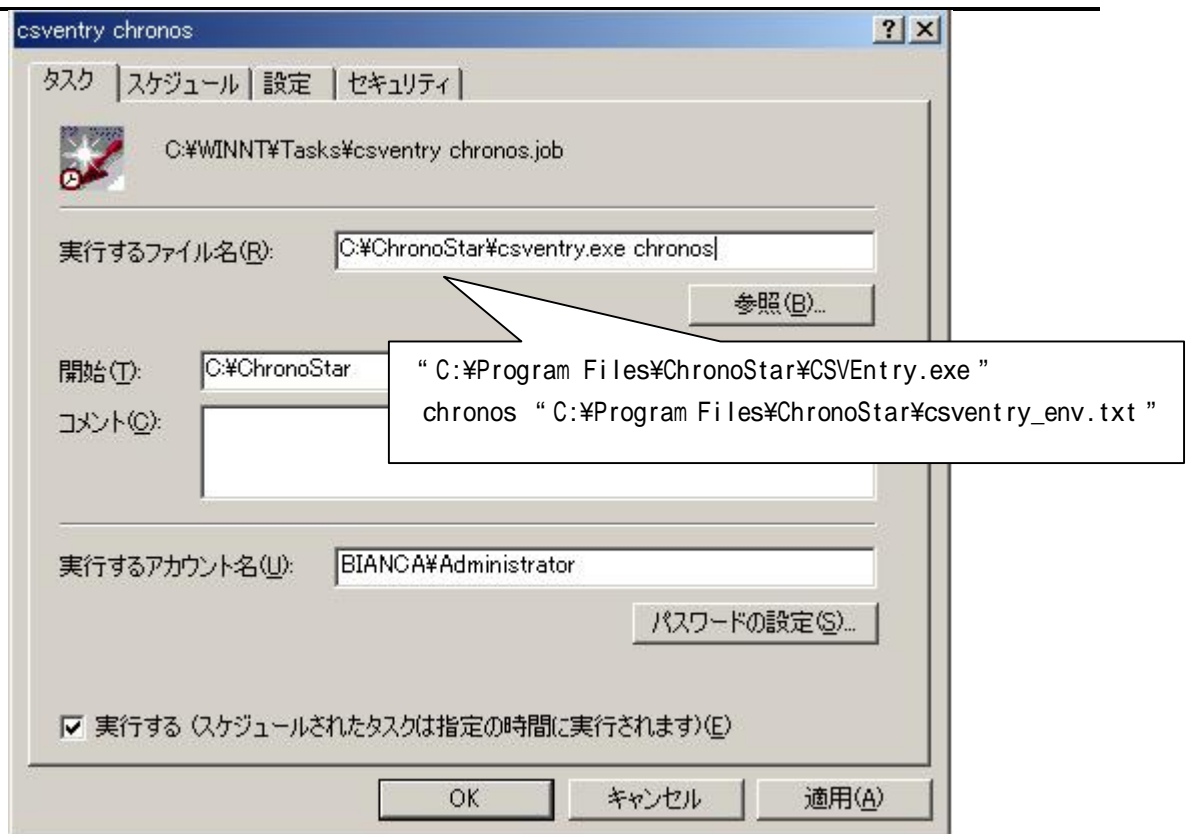


実行ユーザとパスワードを入力します。自動実行しない場合にその PC で CSVEntry.exe を使用しているユーザで設定してください。



[完了]ボタンを押します。

作成されたタスクのプロパティを開き「実行するファイル名」の欄にパラメータを追加します。1 番目のパラメータは接続するサーバ名で "chronos" としてください。2 番目のパラメータは環境設定ファイルを指定することができます。指定しない場合は省略できます。



以上